

# 教点連ニュース 平成 24 年度 第 2 号 No. 20

平成 24 年 8 月 30 日

## 【平成 24 年度第 2 回セミナーのご案内】

### 《秋のセミナー》

日時：平成 24 年 11 月 23 日（金・祝） 13:00～16:30（12:30 より受付）

場所：愛知県図書館（5階大会議室）

（地下鉄鶴舞線又は桜通線「丸の内」下車、8番出口から徒歩5分  
市バス幹名駅1系統・名駅14系統「愛知県図書館」下車徒歩3分）  
※駐車場の数が非常に少ないため、公共交通機関をご利用ください。

住所：〒460-0001 名古屋市中区三の丸一丁目9-3

共催：名古屋盲人情報文化センター

テーマ：「英語点字指導の現状～もう一度英語略字の重要性を問い直す」

内容：

13:00～ 田中理事長挨拶

13:10～ 支援学校における英語点字教育の現状

愛知県立名古屋盲学校教諭 溝上弥生氏

英語点字学習の体験発表

日本福祉大学学生 橋本育実氏

特別支援学校用高校英語教科書の点訳の工夫点

東京点字出版所 白井康晴氏

現在の支援学校中学部用英語教科書の編修方針について

特別支援教育総合研究所 田中良広氏

15:00～ 休憩

15:15～ 意見交換会

16:15～ 閉会挨拶

16:20 終了

定員：100名（定員になりしだい締め切らせていただきます）

資料代：会員¥500、非会員¥1,000

申し込み先：氏名、所属先、ご連絡先を明記の上、メールかファックスで下記まで  
お申し込みください。

日本ライトハウス情報文化センター・奥野

メール：okuno@lighthouse.or.jp

ファックス：06-6441-0095（電話：06-6441-0015）

\*なお、会場に関するお問い合わせは、名古屋盲人情報文化センター・森（電話：052-654-4521）までお願いします。

## 【平成 24 年度第 1 回セミナーのご報告】

6 月 23 日（土）に平成 24 年度第 1 回セミナーを日本点字図書館で開催しました。

まず総論として、「視覚障害児童の点字習得の支援と実践」というテーマで牟田口辰己監査より、これまでの自身の点字指導教育との関わりや、データに基づいた点字習得段階に関する貴重なお話を伺えました。

続いて当事者・保護者・ボランティアの各立場から、山岸尉泰氏、小汐誉氏、古川聖子氏より、実際に学習する中での体験や取り組まれてきた支援、現在抱えている問題など、事例を交えながら発表いただきました。山岸氏は小・中学と地域の学校で学んでこられ、その中で得たもの、友人との関係などをお話いただきました。小汐氏からは、お子さんの自宅での学習風景を映像で用意していただき、実際に点字を読み書きしているお子さんの様子を見せていただきました。生き生きとしたお子さんの様子を拝見させていただけたことは、私たちにとってもたいへん貴重でしたし、参加者の共感を得ていたようでした。古川氏のお話では、これまで支援されてきた学生の教科書点訳に際して、工夫されてきたことなどを力強く分かりやすくお話いただきました。

最後に、石川准氏より中央教育審議会初頭中等教育分科会特別支援教育のあり方に関する特別委員会で検討されてきた「共生社会の形成にむけたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進概要（案）」の資料に基づき、今後のインクルーシブ教育のあり方についてお話いただきました。

当日発表いただきました講師の方を初め、ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。

## 【平成 24 年度総会】

- (1) 平成 23 年度事業報告および決算の承認
- (2) 平成 23 年度監査報告
- (3) 平成 24 年度事業計画案および予算案の承認

以上の議案について審議し、全員賛成で承認された。

なお、平成 23 年度決算は、以下の通り。

|        |           |
|--------|-----------|
| 収入総額   | 447,671 円 |
| 支出総額   | 394,396 円 |
| 次年度繰越額 | 53,275 円  |

## 【平成 24 年度第 1 回理事会記録】

日時：平成 24 年 6 月 23 日（土）12:00～13:00

場所：日本点字図書館会議室

内容：

1. デジタル教科書協議会への法案の一部再考等についての申し入れについて  
6月初旬にデジタル教科書協議会から出された法案について、点字教科書に関する内容も盛り込んでもらうよう、要望する。要望書案を加藤・野々村両理事が作成し、その内容の検討を行なった。7月初旬を目標に、要望書を提出する。その際、マスコミにも広く広報する。この法案に対し文部科学省がどのように関与していくかを見守る必要がある。
2. 意見交換会の報告  
6月14日に文部科学省特別支援課と専門科との意見交換会が行われた。今回は著作本の編集のを中心に進められ、インクルーシブ教育用の教科書については触れられなかった。点字教科書の実態についても文部科学省に理解してもらう必要がある。著作本教科書製作とも連携しながら、教科書課に要望をしていかななくてはならない。次回の日程は未定だが、議事内容に関する要望書を政務官などを通じて提出し、今後も意見交換会を持ってもらえるように進める。
3. 「教科書点訳のてびき」の進捗状況について  
てびきは、1部と2部に分けて構成する。その1部の各教科の執筆者の打ち合わせが行われ、分担が決まった。事例の抽出などは現在行なっている。
4. 秋のセミナーについて  
11月23日（金・祝）に愛知県図書館研修室で開催予定（会場を正式に予約できるのは実施月の2ヶ月前）。内容は、次回の理事会で検討する。
5. 次回の理事会について  
8月6日（月）13:30～17:00

## 【平成24年度第2回理事会記録】

日時：平成24年8月6日（月）13:00～17:00

場所：社会福祉法人視覚障害者支援総合センター 会議室

内容：

1. 秋のセミナーについて  
詳しくは冒頭の秋のセミナーをご覧ください。
2. NPO法人の規定変更にともない、NPO団体の代表権が理事全員に課されていたのが理事長のみになり、その変更手続きをすでに終えていることの報告があった。
3. 「教科書点訳のてびき」の製作進捗状況の報告（田中理事長より）  
理科・社会の事例の抜粋箇所をまだ担当者に渡せていない。他の科目は、担当者に原稿をお願いしている。  
長岡理事より、大内氏、牟田口氏とで担当する第1章・総論の部分の分担確認を行なっていることの報告があった。また、てびきに掲載する事例などについては、教科書製作に関わっているボランティアグループにもチェック等の協力をお願いしたいとの申し出があった。
4. デジタル教科書協議会への要望書提出報告（田中理事長より）

7月5日に協議会に要望書を提出したところ、同会のワーキング・グループに渡しておくとのことで、おそらく、議員立法に盛り込まれることになるだろう。

5. 文部科学省との意見交換会について

今年度2回目の具体的な日程はまだ決まっていない。

拡大教科書の場合には、原典教科書出版会社から拡大教科書を出版するという具体的な目標があり要望していった。同様に、点字教科書についても具体的な目標設定を行ない、意見交換会に要望していく必要がある。教点連の理事の中でも、意見交換会で要望する内容についてコンセンサスを取る必要がある。全員で集まるのが難しい場合は、何人かで集まるなどして、内容を検討する。

次回の理事会のときに、具体的な案を検討できるようにそれまでに案を文章でまとめておくことになった。

6. 次回の理事会について

11月23日（金・祝）10:30～12:00（愛知県図書館会議室）

発行日：平成24年8月30日

発行所：NPO法人全国視覚障害児童・生徒用教科書点訳連絡会

ホームページ：<http://kyotenren.web.fc2.com/>

発行人：田中徹二

連絡先：（社福）日本点字図書館 担当：田中・松本

〒169-8586 新宿区高田馬場1-23-4

Tel：(03)3209-0241 Fax：(03)3204-5641

E-mail：matsumotom@nittento.or.jp

振込口座番号：0180-7-262151